

望岳

2026
第31号

発行
高志ワークホーム
高志ワークセンター
高志生活訓練センター
望岳会
自治会



●ご挨拶

望岳会会長 稲垣 貴美恵

今年度もさまざまな行事が行われましたが、皆様にとって何が一番楽しかったでしょうか。私にとっては、やはり日帰りバスハイクが一番印象に残っています。日頃なかなかお会いできない会員の皆様ともお会いし、ゆっくりお話しすることができました。当日はバスで射水市へ向かい、お弁当をいただいた後、レクリエーションインストラクターの上田さんのご指導のもと、皿回しに挑戦しました。皆様、楽しい時間を過ごしていただきましたでしょうか。私はなかなかうまくできませんでしたが、すぐに上達され、新しい特技を見つけられた方もいらっしやったのではないのでしょうか。手遊びやクイズもあり、終始笑顔のあふれるひとときとなりました。その後は富山県美術館でポップアート展を見学しました。普段なかなか目にするのではないアートの世界に触れ、しばし心が癒やされました。また、少し暑いぐらいの良い天気にも恵まれ、景色も素晴らしく、とても爽やかな気分でご過ごすことができました。このように行事を無事に終えることができたのも、所長さんをはじめ職員の皆様、そして望岳会の皆様のご協力があったからこそだと思います。今後とも、皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

高志ワークセンター

日帰りバスハイク

10月17日(金)、利用者ご家族、職員あわせて39名で出掛けました。手遊びや皿回しに挑戦し楽しい時間を過ごすことができました。みなさんでおいしなお弁当もいただきました。



職員・利用者
家族と交流を
深めました



忘年会

12月10日(水)、今回はシンガーソングライターの高原兄氏による、スペシャルライブが開催され、大いに盛り上がりました。



高志ワークセンター **突撃** インタビュー 利用者さんにしてみました



Iさん

県内のリハビリテーション病院を退院後、高志生活訓練センターを利用され、「毎日の生活を続ける力」が日に日に身につき、自分自身に自信を持てるようになったとのことでした。

現在は、高志ワークセンター電装班で仕事をされ、幅広い作業工程に関わる中で、「確認」を大切にしておられます。集中して作業に取り組む姿はとて頼もしく、安定した製品づくり、品質を支える存在となっています。

自家用車で通所されています。休日は動画視聴でリフレッシュすることが楽しみだそうです。



Q. 電装班でどのような作業に取り組んでおられますか？

A. 前の仕事の経験があるので、図面を見るのは割と得意です。
線切から検品まで他利用者と協力しながら分からないところは教え合いながら取り組んでいます。



Q. 高志ワークセンターのいいところは？

A. 少し難しい作業にもチャレンジできる場所です。分からないことがあっても、職員さんがすぐにフォローしてくれるので安心です。富山県リハビリテーション病院とつながっているのも心強いですし、建物が広くて通路もゆったりしているので、車いすでも安心して通えます。

Kさん

検査加工班で仕事をされています。好きな作業は納品の手伝いで運搬に出ることで、良い気分転換になってワクワクするそうです。

人と話すことが大好きで、休憩時には利用者や職員と会話を楽しむ姿が見られます。とても明るい性格で、高志ワークセンター内の雰囲気を和ませてくれています。

今後も、持ち前の明るさを活かしながら、無理のないペースで作業に取り組んでいきましょう。

Q. 検査加工班でどんな作業をしていますか？

A. 防水シートをたたむ作業をしています。
一枚一枚たたむのは大変ですが、きれいに仕上がるよう意識しながら、毎日頑張っており取り組んでいます。
また、完成した製品を台車に積み込む作業もしています。完成したものができあがっていくと嬉しくなります。



Q. 高志ワークセンターのいいところは？

A. 前は、バスを使って通っていましたが、通うのが少し大変でした。今は富山駅まで送迎してくれるので、快適に通えています。
作業は、ほとんど座ってできるので、体が疲れにくいです。また、自分のペースでできるので、無理をしなくていいところが気に入っています。

高志ワークホーム 2025年 年間行事紹介

5月~12月
所外活動

利用者みなさんが食べたい、
行きたいの願いが叶いました!



ファミリーレストランではフォークとナイフで食べたり、寿司屋では電子タッチパネルで注文したり、熱々のラーメンに舌鼓を打ったり、美味しくいただきました。



9月23日
ふれあいデー

利用者・家族・
職員・地域の
みなさんと
交流しました♪



チーム対抗クイズ大会や、河合良さんの
ライブもあり、みなさんで盛り上がりました。

千本引きに挑戦!
何が当たるかな~

12月11日
忘年会

シュークリームもおいしい



紐を引いた先には、
素敵なプレゼントが☆

外出訓練

「公共交通機関を利用してみたい!」「一人で出かけたけど不安もある」など、みなさんの新しい挑戦を職員と一緒に計画を立てて、実際に富山駅やゲームセンターまでバスを利用して出かけました☆



バス停が敷地内にあり、バスの利用が便利!!



おやつ作り

看護師さんにレシピを教えてもらい、季節ごとのおやつを自分たちで作って食べました。料理を作ったことのない人でも簡単に作れる工程の少ないレシピでみんな役割を持って楽しい時間を過ごしました。



夏は、水まんじゅうを作り、冷たくして食べました☆



たこ焼き? ベビーカステラを作りました☆



買い物支援

月に2回程度、日用品や本、衣類などみなさんが希望し、選択された場所へ買い物に出かけています。



今年は、介護等体験をされた大学生さんとも一緒に行きました



お土産物と、貴重な経験をみなさんに発表していただきました。



2025年大阪関西万博へどうしても行きたい!職員や友人、色々な方々に相談し、JRチケット・ホテル・万博チケットを手配し、無事に行くことができました。万博会場では、障害のある人優先で入れるパビリオンがあり、スペイン館・ブルガリア館・フィリピン館などを周りました。また会場ボランティアの方々も助けていただき、色々見たことが、とても思い出深いものになりました。



大阪万博へ行ってきました

橋場 一晃さん

高志生活訓練センター

2019年4月の開設からこれまでに延べ63名の方が利用終了されました。自立訓練を通して生活のリズムをつくり、健康になって働く準備をはじめましょう。 **随時相談受付中です。**

復職や新規就労を希望する利用者が増えています。

復職を果たしたAさんが来てくれました。



利用のきっかけ

復職に向け、富山県高次脳機能障害支援センターと相談していました。パソコン訓練が必要と言われ高志生活訓練センターを紹介されました。送迎サービスもあり利用を決めました。

生活リズム

正直、最初は何をやる場所が分かりませんでした。毎日通い、運動、理学療法、各種講座に取り組んでいくうちに、生活リズムも整い、復職につながりました。

自動車運転再開

高志生活訓練センターで自立訓練をしながら、隣の富山県リハビリテーション病院の支援も受けて、自動車運転ができるようになりました。



仕事は順調♪

初めは不安がありました。会社も最初は私が何をできるか分からなかったようです。パソコンで事務の仕事を始めると、意外にできることがお互いに分かってきました。

調理訓練

今年度も生活力向上を目指し、調理訓練を積極的に行いました。透析治療を受けている方にも配慮したレシピで大好評です!



豆腐のお好み焼き

病気後は料理をしていませんでしたが、少しできるようになりました。妻が安心して親せきの家へ泊まりに行けるようになりました。

講座・実技で健康意識が高まりました。初めてお菓子作りもしました。モチベーションが上がり、ハマりそうです。



白玉ぜんざい

委員会等活動紹介

感染症対策委員会

今年度は、職員参加の研修に加え、利用者のみなさんを対象とした手洗い研修を初めて実施しました。研修を通して、日常生活における感染症予防対策への理解を深める良い機会となりました。

また、送迎車内を想定した嘔吐対応研修を行い、限られた空間での適切な対応方法について確認しました。今後も感染症予防対策について、周知徹底しながら、利用者のみなさまが安心・安全に過ごせるよう支援に努めていきます。



防災委員会

様々な災害に備え、昨年に引き続き研修や訓練を実施してきました。

4月に業務継続計画研修、5月に避難確保計画研修、7月に洪水を想定した避難訓練を実施しました。

9月に高志ワークセンターと高志生活訓練センター、10月に富山北消防署立ち合いのもと高志ワークホームで火災を想定した消火・避難訓練を実施しました。消防署の方から初動等に関してご指導をいただき、更なるレベルアップを図っていくことになりました。



ピアカウンセリング

月に1回、特定非営利活動法人 自立生活支援センター富山の相談員に來所していただき、利用者のみなさんへのカウンセリングを実施しています。

地域移行に向けた相談や日々の悩み、趣味についてなど、さまざまなお話を通して、障害のある方が自立した生活へつながることを目指しています。

職員と連携しながら、これまでの経験を活かした助言や共感を届けていただいております。その積み重ねの中から実際に地域移行へとつながった利用者もおられます。これからも、安心して思いを話せる場を大切にしていきます。



地域連携推進会議



令和7年7月22日(火)午後、利用者と地域の関係づくりを目的に初めての地域連携推進会議を開催しました。

会議では、本会の目的、施設の概要や運営について説明し、最後に意見交換と施設見学を行いました。様々な視点から意見が出され、今後の事業運営に活かし地域と連携を深めていくこととなりました。ご参加のみなさまに厚く御礼申し上げます。

職員紹介

はじめまして



管理栄養士 大掛 恵美子

- Q 休日の過ごし方は？
A 午前中に掃除、買い物、午後にサッカー観戦をすることが多いです。
- Q 自分の性格を一言で教えてください。
A 一言で表すのは難しいと思ってしまう性格(笑) 明るい性格とは思います。
- Q 好きな食べ物は？
A たくさんありますが、イチゴかな。

- Q リラックス方法を教えてください。
A バラエティを見ておもしろい笑う。
- Q 最近ハマっていることを教えてください。
A ピスタチオ

自己PRをお願いします

みなさまとコミュニケーションをとる機会が少ないですが見かけましたら気軽にお声掛けください。

編集後記

今回は、これまで以上に多くの議論と工夫を重ね、この施設で一年間かけて取り組んできた活動をできる限り盛り込みました。少しでも多くの方に、高志の雰囲気や日々の歩みが伝われば幸いです。

本誌の作成にあたり、快く原稿をご執筆いただいた関係者のみなさま、そして写真撮影にご協力いただいた多くの利用者の方々に、心より厚く御礼申し上げます。

利用者募集中

みなさまのご利用をお待ちしております。

お問い合わせ先は TEL 076-438-4502



職員募集中

詳しくは

<https://www.toyama-reha.or.jp/recruitment>



ホームページリニューアルしました。

<https://koshi-work.jp/>



連絡先 TEL 076-438-4502 FAX 076-438-4503

指定障害者支援施設
高志ワークホーム
定員 生活介護 30名
施設入所支援 30名

指定障害福祉サービス事業所
高志ワークセンター
定員 就労継続支援B型 34名

指定障害福祉サービス事業所
高志生活訓練センター
定員 自立訓練(機能訓練) 10名
自立訓練(生活訓練) 10名